

優れた 立地環境

大黒ふ頭・本牧ふ頭・南本牧ふ頭の各最新鋭コンテナふ頭と連結しており、国道357号線や、首都高速湾岸線等の高速道路網により、首都圏から全国各地へ結ばれている好立地にあります。最寄りの大黒ふ頭出入口から第3京浜、その後東名高速に直結するなど、新たな高速道路の開通とともに交通利便性が更に向上していくことから、輸出入の物流拠点として今後ますますその役割を期待されています。



会社案内

商号	株式会社横浜港国際流通センター (Yokohama Port International Cargo Center Co., Ltd.)
住所	〒230-0054 横浜市鶴見区大黒ふ頭22番
設立	平成4年(1992年)12月18日
開業	平成8年(1996年)8月1日
資本金	76億8,500万円
大株主	横浜市、神奈川県、(株)日本政策投資銀行、 横浜港埠頭(株)、(株)横浜銀行
事業内容	1. 倉庫などの物流施設の賃貸及び管理運営 2. 事務所、会議室などの施設の賃貸及び管理運営 3. 駐車場の賃貸及び管理運営 4. 展示会などの催事の企画及び開催 5. 損害保険代理業

入居のお問い合わせ等

WEB : <http://www.yokohama-cargo-center.jp/>
住所 : 〒230-0054 横浜市鶴見区大黒ふ頭22番
TEL : 045-510-2000(代)
FAX : 045-510-2019



Y-CC

横浜港流通センター
YOKOHAMA PORT CARGO CENTER

我が国最大級の総合物流施設

Y-CCは、横浜港の三大ふ頭のひとつである大黒ふ頭に立地する

延床面積32万㎡と我が国最大級の総合物流施設です。

保管・荷さばき・流通加工・展示販売・配送等の多様化する物流ニーズに対応できる施設であり、
輸入貨物のもとより、輸出貨物、国内卸小売業者の配送センターなど
様々な用途にご利用いただいております。

耐震性にも優れ安全で、輸入貨物の流通加工等にも対応できる高機能複合型物流拠点として、
「国際コンテナ戦略港湾」である横浜港の集荷・創貨の重要な役割を担っています。



効率的で使いやすい施設

物流棟の東西両端にはランプウェイを設置し、大型車両も各階に直接乗り入れることができるため、効率的な荷役が可能です。

1区画約4,300㎡、柱間11.1mの庫内はスペースを有効に活用でき、高床式の各区画には、テーブルリフター1基、ドックレベラー6基が標準装備され、6台のコンテナを同時に荷役することができます。全天候型仕様の倉庫は24時間稼働など、荷主の要望に十分対応できる物流施設として利用されています。また広大な空間を誇る屋上は、駐車場として大型コンテナトレーラーも利用可能です。



物流棟屋上



安心・安全な施設

物流棟はPCプレストレストコンクリート工法を採用し、深さ70m以上の地盤に約3,900本の基礎杭を打ち込むなど、大地震などの自然災害にも十分耐えられる強靱な設計になっています。車両走行路は、上り下り完全分離方式で、広く設計されたランプウェイは運転しやすく、交通管制システムにより安全性が確保されています。日常の管理は、ビルトータル管理システムにより、建物全体の安全を監視。監視カメラや機械警備、警備員の常駐など、24時間万全のセキュリティ体制を整えています。



防災センター



事務所棟

事務所棟には1区画約72㎡の賃貸事務室が70区画あり、物流企業以外の様々なニーズにも対応しています。そのほか保税展示室や会議室、商談スペース、駐車場などの業務用施設も備えています。また、食堂・コンビニ・銀行ATM・休憩スペースなどを設け、施設内で働く方のための機能も充実しています。

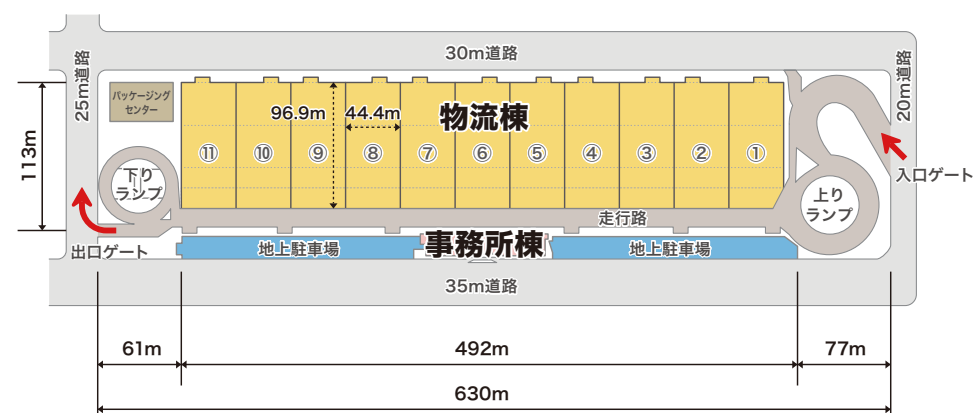


事務所



食堂

施設概要



	物流棟	事務所棟
構造	PCプレストレストコンクリート造 5階建	鉄骨造 8階建
延床	305,449㎡	12,700㎡
専用区画	55区画（賃貸33区画、区分所有22区画） ※1階あたり11区画	70区画（賃貸）
区画面積	約4,300㎡／区画	約72㎡／区画
諸施設	屋上駐車場 437㎡／区画 各階走行路 4車線（幅員16m）	地上駐車場約240台

総合保税地域でビジネスサポート

総合保税地域の許可施設で貨物の保管・荷さばきに加え、外国貨物のままでの加工・展示ができるなどのメリットがあります。



展示室